

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公開番号】特開2015-70903(P2015-70903A)

【公開日】平成27年4月16日 (2015.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-025

【出願番号】特願2013-207268(P2013-207268)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 3 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月30日 (2016.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者が操作する携帯通信端末を介して、該遊技者の遊技に関する情報をサーバに送信可能な遊技機において、

遊技に際して行われる所定の抽選に関する情報である遊技情報を蓄積記憶可能な遊技情報記憶手段と、

特定期間における特定事象の発生回数、又は、特定期間が終了するまでの時間を計測する特定計測手段とを備え、

サーバのアドレス情報、前記遊技情報記憶手段に蓄積記憶されている遊技情報、及び、前記特定計測手段で計測された特定計測情報のうち、少なくともサーバのアドレス情報を含む情報を、所定の携帯通信端末によって識別又は認識可能な態様として出力可能な情報出力手段とを備え、

前記情報出力手段は、前記遊技情報記憶手段に記憶されている遊技情報を出力する場合には、前記特定計測手段の特定計測情報も含ませた情報として出力することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

所定の発射手段によって発射された遊技球が案内される遊技領域と、

前記遊技領域を移動する遊技球が入球可能な開状態と、入球不可能な閉状態とに状態変化する可変入球手段と、

前記可変入球手段に入球した遊技球を検知する可変入球検知手段と、

所定条件の成立に基づいて、前記可変入球手段が開状態とされる特別遊技状態を発生させるか否かの当否抽選を行う特別遊技状態発生手段とを備え、

前記特定期間は、前記特別遊技状態に対応して設定され、

前記特定計測手段は、前記特別遊技状態において前記遊技領域に発射された遊技球の数を計数することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記発射手段によって発射された遊技球を前記遊技領域にまで案内する案内通路を備え、

前記案内通路は、前記発射手段側の第 1 通路と、前記遊技領域側の第 2 通路とを備え、

前記第 1 通路と、前記第 2 通路との間には、前記発射手段によって発射されたものの前記遊技領域に至らず、前記第 1 通路を逆流する遊技球が入球可能な隙間が設けられるとともに、前記隙間に入球した遊技球を遊技者側に戻す球戻し通路が設けられ、

前記第 2 通路を通過する遊技球を検知する発射検知手段と、

前記球戻し通路を通過する遊技球を検知する戻し球検知手段とを備えていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技情報記憶手段には、当該遊技情報記憶手段に対して遊技者個人の前記遊技情報の蓄積を開始するための操作が行われてから、前記遊技情報及び前記選択情報を含む前記符号情報を前記表示手段に表示するまでの間における前記遊技情報が記憶され、

前記特定計測手段には、前記遊技情報記憶手段に対して遊技者個人の前記遊技情報の蓄積を開始するための操作が行われてから、前記遊技情報及び前記特定計測情報を含む前記符号情報を前記表示手段に表示するまでの間における前記特定計測情報だけでなく、それ以外の期間における前記特定計測情報についても記憶されることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。